

四国比例は序盤から大激戦

総選挙の対決構図は、選挙区では「自公対野党共闘」がいよいよ鮮明になりました。四国の比例代表(定数6)は大激戦です。序盤の共同通信世論調査では、5、6番目の議席を自民、立民、維新、共産、公明が激しく競り合う状況となっています。四国の議席奪還・白川勝利の絶好のチャンス、成否はこれからの大奮闘にかかっています。

白川さん、愛媛県で気迫の訴え



白川よう子比例候補は2日目の20日、愛媛県の四国中央市の川の江、三島、土居、新居浜市の街頭で訴え、西条市の周桑民商会館での集会で訴えました。四国中央市では3カ所の街頭に80人、新居浜市では2カ所に90人の聴衆が集まってくれ、西条市の小集会には35人が参加しました。

新居浜市では「議会に女性を送る会」代表の伊藤初美さんが「白川さんを国会へとみんなで頑張っています。コロナ対策には女性の視点が欠かせません」と応援演説しました。川の江市では三好平、飛鷹裕輔両市議、新居浜市では井谷幸恵、片平恵美両市議が同行しました。



徳島県に仁比聡平前参院議員が応援

20、21日と仁比聡平前参院議員が徳島県に応援に入っています。



仁比氏はまず徳島建労本部事務所を訪問し、「四国比例は大激戦で、12日間のうち5日を四国に入る。このチャンスに必ず議席を獲得したい、ご支援を」と挨拶。西内健吾書記長は「建設労働者後援会として全力をあげたい」と応じました。

仁比さんは午後から県の政党カーに乗り、徳島市内8カ所で街頭演説、「日本共産党を伸ばして政権交代を」と熱く訴えました。

21日は、那賀町、阿南市で訴えています。

＼四国の地方紙4紙に全面広告／

10月23日付の愛媛新聞、徳島新聞、高知新聞、24日付の四国新聞の各紙に、「政権交代揺るがず前へ」、「ジェンダー平等の扉を開く女性を四国から」の1ページすべて使った全面広告が掲載されます。四国新聞には「山下よしき来る」、愛媛、高知には「志位和夫来る」も入っています。電話作戦などで、対話、支持拡大に結び付けましょう。